

令和6年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和6年度事務事業（新規） 〕

特別会計		事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	高齢者あんしんサポート事業	事業番号	011-298
担当部署名	健康福祉 局 長寿社会 部 長寿支援 課		

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画 2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4) 高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現	
			有	取組の方向性	⑤高齢者が安心して暮らし続けられる生活環境の整備			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	
	堺市SDGs 未来都市 計画	施策 との 関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.8	
			無	取組	地域包括ケアシステムの推進			
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和3(2021)～5(2023)年度）		
3	事業開始年度	令和 6 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠 （根拠法令、条例等）	介護保険法、共生社会の実現を推進するための認知症基本法		

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	堺市		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	高齢者及びその家族等	対象数	単位
			約231,000	人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民協働・公民協働の下、地域全体で高齢者を見守る体制を構築するほか、人生の最期まで自分らしく生きるための「終活」を支援することで、高齢者がいつまでも安心して暮らし続けることができる地域社会を実現する。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	(1) ICTを活用した高齢者見守り支援「みまもりあい事業」(新規) 民間事業者と連携して、「みまもりあいアプリ」を活用した認知症等高齢者の見守りサービス(高齢者が行方不明になった際の発見支援)を提供。高齢者等が行方不明になった際に発見者から家族等に連絡できる緊急連絡用ステッカー「みまもりあいステッカー」を配布する。同ステッカーでは、匿名化されたIDから独自の転送システムで家族等と直接電話が繋がり、家族等の個人情報の公開は不要。 (2) 高齢者徘徊SOSネットワーク事業(継続) 認知症等で行方不明になった高齢者等を早期に発見するため、警察捜索の補完的なものとして、行方不明になった際の服装や身体的特徴などを協力者にメール等で配信。		
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	(3) 市民向け終活セミナー・終活相談支援の実施(新規) 民間事業者との協定に基づき、市民向けの終活セミナーや終活相談支援(電話相談窓口等)を実施。 (4) 「人生会議」の普及啓発(新規) 人生の最終段階における医療や介護について話し合う「人生会議／ACP(アドバンス・ケア・プランニング)」について、医師会等の関係機関と連携し、セミナー開催や広報媒体の作成等、市民向けの普及啓発を実施。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先(委託・補助金・負担金等)	株式会社セーフティネットリンケージ、バイザー株式会社、大阪ガスセキュリティサービス株式会社		
10	公民連携・協働事業			

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標					
	高齢者が住み慣れた地域で安心して生活ができる環境の構築					
	当該目標を設定した理由	地域全体での見守り体制の構築や終活支援を進めることが、高齢者の安心な生活につながるため				
	目標に対する実績	－				
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位		実績		目標
			令和4年度	令和5年度	令和6年度	
	みまもりあい事業登録者数	人	目標値	－	－	200
			実績値	－	－	
			達成率	－	－	
	当該指標を選定した理由	登録者数を増やすことで、認知症高齢者が安心して暮らし続けられ、高齢者全体の安心な生活につながるため				
目標値の設定根拠・算出方法	みまもりあい事業新規登録者数					

令和6年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名		高齢者あんしんサポート事業			事業番号		011-298	
-------	--	---------------	--	--	------	--	---------	--

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度
		決算		決算		当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	569		526		1,754	1,113	8,174
	国支出金	220		203		675	429	3,146
	府支出金	109		101		337	214	1,757
	市債					0		
	その他（第1号被保険者保険料）	131		121		405	256	1,880
	受益者負担金(使用料、手数料等)					0		
	一般財源	109		101		337	214	1,391
14	人件費（b）	2,460		2,460		2,430	2,430	2,430
15	年間経費(c)=(a)+(b)	3,029		2,986		4,184	3,543	10,604

事業費の内訳

（単位：千円）

16	事業費内訳	項 目	年度		事業費	うち一般財源	項 目	年度		事業費	うち一般財源
			R5	決算				R5	決算		
		報償費	R6	予算	776	31		R6	予算		
		通信運搬費	R5	決算	7	1		R5	決算		
			R6	予算	323	63		R6	予算		
		手数料	R5	決算	0	0		R5	決算		
			R6	予算	1,298	250		R6	予算		
		各業務委託料	R5	決算	264	51		R5	決算		
			R6	予算	697	96		R6	予算		
		その他利用料及び賃借料	R5	決算	842	162		R5	決算		
			R6	予算	5,080	951		R6	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

17	①	「高齢者徘徊SOSネットワーク事業」事前登録者数	人	1,220	1,320
	②	上記①にかかる年間経費	千円	2,946	3,503
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	2,415	2,654
	備考（算出についての説明等）				

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	高齢者徘徊SOSネットワーク事業（見守りメール）について、令和5年度は新たに100人の登録を受け、事前登録者数は延べ1,320人となった。また、協力機関数も26件増加して2,401件となり、単位当たり経費は前年度とほぼ同じであるが、体制整備は進んでいる。しかし、見守りメールの配信実績は年々減少傾向にあり、時代にあった形でより実効性の高い取組が求められていた。令和6年度は新たに、ICTを活用したみまもりあい事業を開始することにより、地域全体で高齢者を見守る体制の整備が更に進み、施策効果を高めることができると考えている。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	認知症の高齢者等が行方不明となったときに、保健、医療、福祉、介護等の事業者や地域の住民の支援を得て、当該認知症高齢者等を早期に発見できるような体制を構築することが、認知症の高齢者やその家族等への安全安心につながっている。
----	--